

みんなの清見町をみんなで守る！ 第14回 高山市消防団 清見支団消防操法大会

5月27日(日)、小鳥グラウンドにて消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的とした、「第14回 高山市消防団清見支団消防操法大会」が開催されました。

当大会への出動人員は135人。ポンプ・ホースなどの操作を早く正確に行うとともに、団員の動きの綺麗さを競います。

設置された防水水槽から、給水し、火点(かてん)と呼ばれる的にめがけて放水し、火点の的に倒れるまでの「放水タイム」と「各個動作の正確さ」が採点され順位が決まります。

当大会では「小型ポンプ操法の部」5班、「ポンプ車操法の部」3班で競いました。

団員の皆さんは、家族などが見守る中、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

尚、結果は下記の通りです。



小型ポンプ操法の部



ポンプ車操法の部

6月17日(日)、小型ポンプ操法の部で優勝した第2分団第1班の5人の皆さんは、清見支団を代表し、一之宮町の宮中学校グラウンドで行われる「第14回 高山市消防操法大会」に出場します。町民の皆さんの応援をお願いします。



結果	
【小型ポンプ操法の部】	
優勝	第2分団第1班
2位	第1分団第1班
3位	第2分団第3班
【ポンプ車操法の部】	
優勝	第4分団
2位	第1分団第1班

清見町まち協だより

第39号
平成30年6月1日
清見町
まちづくり協議会
事務所：きよみ館
TEL77-9516(直通)



家庭の日は6月17日(日)です
あいさつで 清見 明るく
あたたかく

清見中学校 3年生

野中 梨子

第14回 グラウンド・ゴルフ清見支部大会



5月17日(木)、清見グラウンドにて、高山グラウンド・ゴルフ清見支部主催のグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

親しみやすいルールに加え健康機能の向上が証明されてることから、年々全国的に愛好者を増やしているグラウンド・ゴルフ。総勢33人が、1チーム4~5人で7チームに分かれ、第1・第2ラウンド、交流戦の計3試合に挑みました。

憧れのホールインワンを狙い、打点の少ないハイスコアを目指します。クラブを握り、ホールポストの中心を見据える皆さんの表情は真剣そのもの。多くの方がホールインワン賞を獲りました。

尚、上位入賞者は右の通りです。おめでとうございます！

優勝	前田 雅敬
準優勝	成田 光一
3位	山下 明彦



左から山下さん、前田さん、成田さん

わくわくつうしん 虫歯予防を学びました

5月10日(木) 福祉センター



歯科衛生士の村瀬陽子さんをお招きし、虫歯予防についてのお話を伺いました。村瀬さんが歯の模型を使い、歯磨きの手本を見せます。それを見ながらお母さんたちがお子さんの歯を磨いた後、染め出しをしてもらい、磨き残しのチェックをしました。



今年も例年と同じく130kgものゴミが集まりました。四季折々の豊かな自然が織りなすせせらぎ街道の景観を守るために、私たち町民一人ひとりが何が出来るとか、考えていきたいですね。

5月12日(土)、西ウレ峠周辺のせせらぎ街道にて、清見支所親睦会によるクリーンロード事業(ゴミ拾い)が行われました。

せせらぎ街道を綺麗にしよう 春のクリーンロード事業

笑顔がいっぱい！ 清見小5年による 田植え体験



の苗を植え付けました。

「(もつと)苗をちよつだ(一苗)」と意欲に溢れた子どもたちの姿がみられました。

9月27日に予定されている稲刈りまで、子どもたちはイネの成長を定期的に観察します。

またその翌月には、収穫したイネの脱穀を体験し、12月初旬の「収穫祭」には、自分たちで作ったコメで餅をつき、全校にふるまいます。



上手に植えることができたよ！

5月17日(木)、小学校向かいにある塩谷敏雄さん所有の水田にて、清見小の5年生22人が田植えを体験しました。総合的な学習の二環として毎年行っているもので、塩谷さんや農協青年部の加藤さん、下家さんに協力していただきました。

きよみ歴史探訪

清見の神社シリーズ① 三日町白山神社

この神社のご祭神(石川 県白山比咩神社の菊理媛大神)が最初に祀られたという正確な年は明らかではないが、長滝寺の荘園として寄進されたという鎌倉時代の建長7年(1255年)15世紀の中頃(連如上人の全盛期)までの約200年の間と考えられる。

三日町にはかつて2社の白山神社があった。1社は現存する山手にあるもの、そしてもう1社は旧農協清見支店の裏手にあたる川べり一帯の「川島」という地に鎮座しており、それぞれ「山の守り」「川の守り」としてお祀りしていた。

両社の祭典は3日がりで行われた。この3日は人々がこぞって寄り集まり、賑やかで街の様であったので、「三日町」の名が起ったと言われているが、この説は一概に捨て切れないものがある。

しかし文政年間(1818年~1831年)、川島の白山神社は洪水のため、御神体も社殿も流失してしまう。長い間、荒れ果てたままとなった。

その後、川島の社殿は再興され、山手の神社と同日に祭典が行われ、二社一体の御祭神としてあがめられてきたが、明治40年5月には、岐阜県内で神社統合の機運が高まり、川島の白山神社は山手の白山神社と合祀されることになり、現在に至っている。

例祭は毎年9月8日に行われている。